

# 道路網の整備で利便性が高まる立地環境 和歌山県

## 道路網の整備で高まる利便性

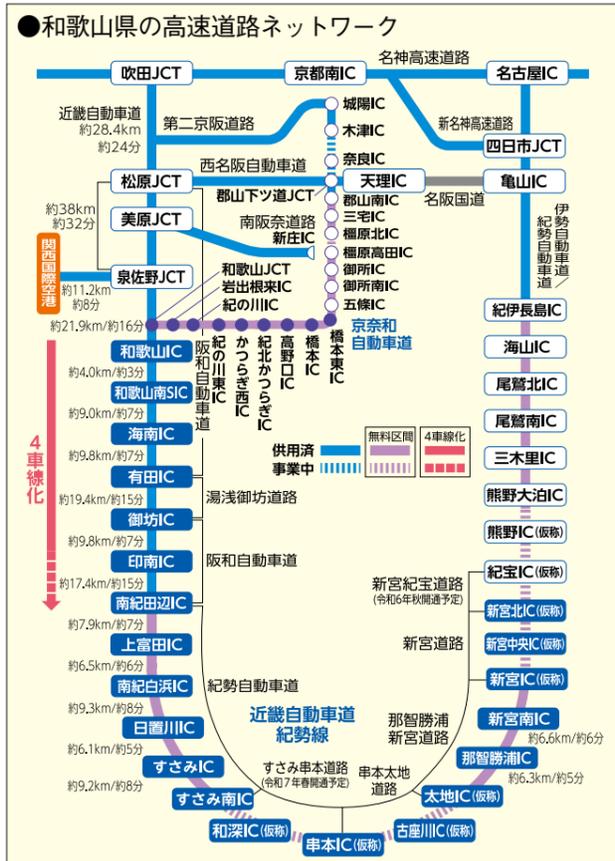
緑豊かな山地と美しい海岸線に囲まれた和歌山県。温暖な気候によって果樹栽培も盛んで、豊かな地域資源も持つ。

同県は交通インフラの整備が進んでおり、近畿圏の外環状道路となる「京奈和自動車道」は、県内区間が全通し、阪和自動車道と直結した。また奈良県の御所南ICから五條北ICが開通し、西名阪自動車道・南阪奈道路との接続もスムーズになった。さらに大阪府との府県間道路も整備され、和歌山県の利便性が一層高まり、製造業を中心に企業立地が進んでいる。

県企業立地課では、従来のものづくり産業と新産業（情報系・オフィス系産業）に加え、高級ホテルや旅館等のリゾート施設誘致も行っている。

### 和歌山県のデータ

面積：4,725km<sup>2</sup>  
 人口：892,470人（2023年9月1日現在・推計人口）  
 県庁所在地：〒640-8585 和歌山市小松原通1-1  
 TEL：073-432-4111（代）  
 ホームページURL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/



分譲エリア・賃貸面積	
番号	全体面積 (うち平地面積)
1	165,000m <sup>2</sup> (129,000m <sup>2</sup> )
2	104,000m <sup>2</sup> (104,000m <sup>2</sup> )
4	13,000m <sup>2</sup> (10,000m <sup>2</sup> )
6	99,000m <sup>2</sup> (59,000m <sup>2</sup> )
7	69,000m <sup>2</sup> (52,000m <sup>2</sup> )
8	119,000m <sup>2</sup> (91,000m <sup>2</sup> )
合計	569,000m <sup>2</sup> (445,000m <sup>2</sup> )

所在地：和歌山市加太、磯の浦  
 事業主体：和歌山県土地開発公社  
 地域指定：地域未来投資促進法に基づく促進区域  
 地方活力向上地域（移転型・拡充型）  
 分譲価格：上限20,000円/㎡（目安）  
※面積は概数です。区画の統合、分割については相談に応じます。

## 地震や津波に強い大規模用地 —「コスモパーク加太」—

和歌山市の「コスモパーク加太」は大規模用地が確保できる希少な産業用地で、高台に位置し、強固な地盤のため地震や津波に強い。周辺には教育・商業施設が充実し、関西国際空港から車で約50分と至便で、第二阪和国道が全線開通したことにより、交通アクセスがさらに向上した。



## 「あやの台北部用地」の開発

橋本市の「紀北橋本エコヒルズ（小峰台・紀ノ光台・紀ノ光台Sゾーン）」は、京奈和自動車道橋本東ICまで車で約5分、大阪中心部まで約1時間とアクセスが至便であり、工業団地は完売。これに代わる産業用地として、近隣に現在「あやの台北部用地」を造成工事中。第1次事業の申込受付中で残り4区画となっている（2023年8月現在）。

### あやの台北部用地開発 — 第一次事業計画 —

開発場所：橋本市隅田町山内・平野・真土  
 開発協定：和歌山県・橋本市・南海電気鉄道（株）  
 開発面積：約95ha（全体事業：約141ha）  
 有効平地面積：約31ha（全体事業：約57ha）  
 分譲開始時期：2024年度（予定）  
 分譲価格：29,000円/㎡（目安）



## 「梅原（和歌山大学前駅）用地」

和歌山大学前駅（南海電鉄南海線）西側に開発予定の「梅原（和歌山大学前駅）用地」は第二阪和国道平井ランプから車で約5分、和歌山大学前駅はなんば駅から約50分、駅からも徒歩圏内と交通アクセスに優れている。

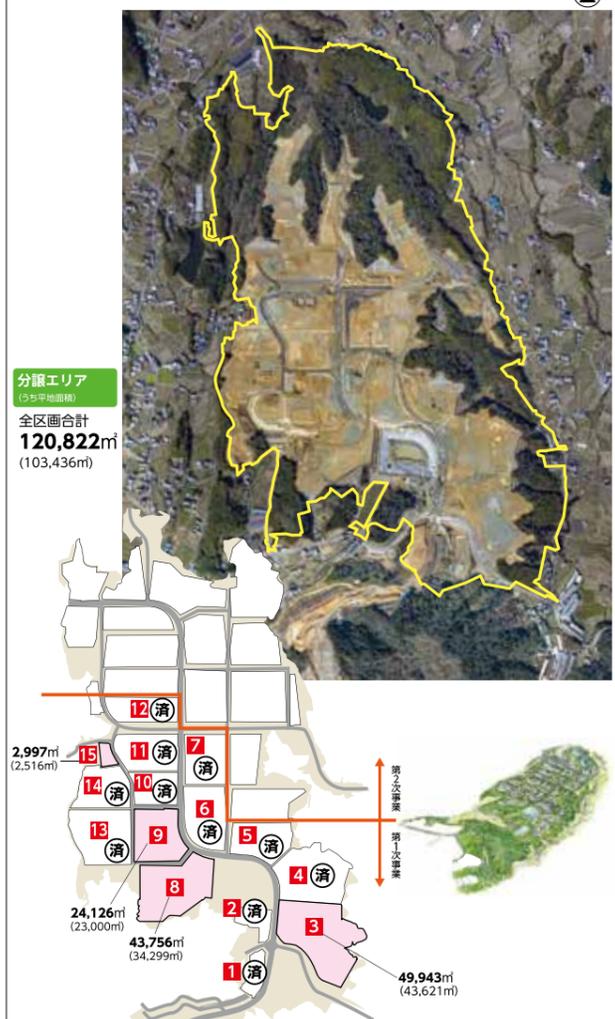
### 梅原（和歌山大学前駅）用地

開発場所：和歌山市梅原・中  
 事業主体：サンヨーホームズ株式会社  
 開発総面積：約27ha 有効平地面積：約11.6ha

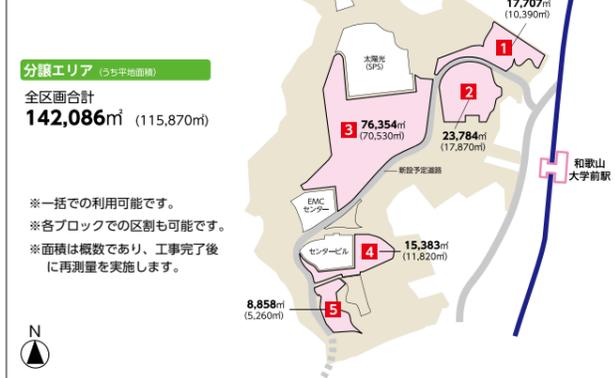
## 全国最高水準の奨励金制度

和歌山県の奨励金制度は県内に工場や試験研究施設・オフィス施設を建設、取得、賃借、増設する企業に対して交付されるもので、工場の場合、立地奨励金と雇用奨

## 用地全体事業計画図



## 用地区画図



励金を合わせて最大100億円と全国最高水準だ。本社機能移転を伴う工場の場合には、本社部分の投下固定資産額30%を補助する「本社機能移転奨励金」も付与される。

※本稿掲載の写真、図表は和歌山県の提供